

単元名	自然を感じるすてきな場所で ー風の通り道ー(造形遊び)	配当時間	3時間
単元の目標	(1) 風が通る場所や空間、材料の色や動きの特徴をとらえ、工夫して表すことができる。 (2) 風が通る場所や空間、風に揺れる材料の特徴から、造形的な活動を構成するとともに、自分たちのつくりだしたものの造形的なよさや美しさから、自分の見方や感じ方を深めることができる。 (3) 風が通る場所や空間、材料の特徴を生かし、主体的に風を美しく見せる活動に取り組もうとする。		

標準的な展開例

06080204_001

【準備等】木材、竹ぐし、段ボール、色セロハン、透明シート、段ボールカッター、ビニールひも、ロープ、ネット、粘着テープ、セロハントープ、デジタルカメラ、サインペン、のり、はさみ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 参考例を見て、課題をつかむ。 ○教科書の参考例を見る。 ★材料や場所の特徴を生かして、風が美しく見えるようにしよう ○風が吹いている場所を探す。 ○場所の特徴や、風の吹く様子を捉えて、どのように可視化するか話し合う。 2 場所や環境を生かし、材料をいろいろ組み合わせてつくる。 ○身近な材料を使ったり、組み合わせたりしながら、風を可視化するものを工夫してつくる。 ・遊具やフェンスをビニールひもで飾る。 ・ビニールシートをひもでしばって浮かせる。 ・ビニールひもを棒やロープに結ぶ。 3 鑑賞会をする。 ○活動場所の特徴や材料の特徴を生かして表されたもののよさや、風が動く姿の美しさについて話し合う。	・教科書5・6下 P.22, 23 ・教科書の参考例を見せ、身近な場所を見つめ直し、いつもとは違う空間に変える造形活動をグループで行うことを知らせる。 ・このような造形遊びの単元は各学年の教科書でも多く紹介されている。活動の見通しをもたせるためにも、多くの参考作品を見せるとよい。 ・学校の環境や施設を調べて、安全性を考慮しながら活動に適した場所を見つけておく。 ・体で感じた風の様子を擬態化・擬音化するように働きかけ、表現に向けて場所によって異なる風の流れや表したい風の様子をグループで共有させる。 ・いくつかの材料を試しながら話し合いが進められるようにするとよい。 ・ロープや飾りがとれないような付け方を考えさせる。 ・飾りなどがしっかり付けられているか再度結び目を確認させる。 ・色の構成、光の効果などを確かめながらつくる。 【評】風による材料の動きやバランス、色の鮮やかさなどに着目し、工夫して表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】風が通る場所や材料の特徴から、造形的な活動を想像する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・自分たちだけで楽しむのではなく、他の学年の児童にも楽しんでもらえるようにするとよい。 ・風の流れを体で感じながら、それぞれのグループの工夫している点を伝え合わせる。 【評】つくりだした空間のよさや美しさを感じ取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・活動場所の特徴を、それぞれのグループがどのように捉えて、材料の形や色をどのように工夫し動きを表したのかが分かるよう、活動の様子や全体の様子をデジタルカメラで記録し、掲示するとよい。 ・使った場所を元通りにし、材料は分別して片付けさせる。 【評】これまでの学習活動や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

特別な教科道徳との関連について

「B-(10) 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと」「D-(20) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること」などとの関連が深い。協力してつくりだした経験や、自然に触れながら感じたことなどについて話し合うなどして、道徳科の学習につなげたい。